

設計内容説明書(耐震性)

RC造等用

建築物の名称:

- ・鉄筋コンクリート造等の住宅において、フラット35Sを利用する場合に記入してください。
- ・耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合には、Ⅰに記入してください。
- ・免震建築物の基準に適合する場合には、Ⅱに記入してください。

Ⅰ 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合

確認項目	設 計 内 容 説 明 欄				設計内容 確認
	項 目	設 計 内 容	評価方法基準	記載図書	
目標等級	目標等級	☐ 等級2 (適用倍率1.25倍) ☐ 等級3 (適用倍率1.5倍)	1-1(2)ロ	☐ 構造計算書 ☐ 構造図	☐ 適 ☐ 不適
構造概要	構造概要	構造種別 () 造) 骨組形式 X方向 () Y方向 () 計算ルート X方向 () Y方向 ()	1-1(3) イロハニ	☐ ☐ ☐ ☐	
構造計算	計算条件	☐ 限界耐力計算 ☐ 保有水平耐力計算(ルート3) 保有水平耐力 $\geq$ () $\times$ 必要保有水平耐力 Co (二次設計) () ☐ 許容応力度等計算(ルート2) ☐ 令第82条第1号から第3号まで・第82条の4の計算(ルート1) ☐ その他 ()			
構造躯体	材料の仕様	コンクリートの種類 () 設計基準強度 (N/mm ²) 鉄筋種類 ☐ SD295A ☐ SD345 ☐ SD390 ☐ ☐ 高強度せん断補強筋 ☐ 鉄骨種類 ☐ SN材 ☐ SM材 ☐ SS材 ☐			

Ⅱ 免震建築物の場合

構造躯体	免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定される免震建築物 ・同告示第2の該当する号 ☐ 一号(建築基準法20条第1項第四号に掲げる建築物) ☐ 二号(建築基準法20条第1項第二号及び第三号に掲げる建築物) ☐ 三号(時刻暦応答解析を行い大臣認定取得) ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画 ☐ 有 ☐ 無 ・敷地の管理に関する計画 ☐ 有 ☐ 無 ☐ その他 ()	1-3(3)イ	☐ 構造計算書 ☐ 構造図 ☐ 計画書 ☐ 配置図 ☐ ☐	☐ 適 ☐ 不適
------	-------	---	---------	--	---

注1) フラット35Sにおける耐震性に関する基準は次のとおりです。

	フラット35S(金利Bプラン)	フラット35S(金利Aプラン)
耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	等級2	等級3
耐震等級(免震建築物)	—	免震建築物であること、免震層・免震材料の維持管理に関する計画が定められていること及び敷地の管理に関する計画が定められていること。

注2) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で変更することができます。

注3) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。